

整理番号	4
------	---

リサーチグループ登録届出書

平成 24年 12月 28日

1. リサーチグループの概要

リサーチグループの名称 デジタル・ミュージアム
リサーチグループの名称(英語) Digital Museum
分野 (1.人文系、2.理工系、3.生物系、4.複合系) 4
設置開始時期 2012年 4月
設置終了時期 2014年 3月

2. リサーチグループ代表者

所属・職名 図書館情報メディア系・教授
氏 名 西岡 貞一
氏名(英語) Teiichi Nishioka

3. 連絡先

所属・職名 図書館情報メディア系・教授
氏 名 西岡 貞一
電 話 080-1236-1481
F A X _____
E-mail nishioka@slis.tsukuba.ac.jp

4. 担当部局 (当該リサーチグループの運営等を管理する部局名)

図書館情報メディア系

5. 構成員一覧について

氏名	所属部局	職名	専 門	学位	役割分担
西岡 貞一	図書館情報メディア系	教授	博物館情報・メディア論	修士	代表者 ワークショップ・プログラム研究
鈴木 誠一郎	図書館情報メディア系	教授	コンテンツ・プロデュース論	学士	映像表現研究
綿拔 豊昭	図書館情報メディア系	教授	日本文学	博士	文化財研究

6. 科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		2001 文化財科学・ 博物館学	1801 教育工学	1303 エンターテインメント・ ゲーム情報学
7. キーワード(5つまで)	デジタルメディア	キュレータ	博物館情報・ メディア論		
8. キーワード(英語)	Digital media	Curator	Museum information and media		
9. 研究グループHP	URLを記載してください。	検討中			
10.研究グループ概要(100字程度)					
<p>近年、ミュージアムでは展示や教育活動にデジタルメディアを利用する機会が拡大している。これからの学芸員にはメディア活用能力が求められる。本プロジェクトでは、デジタルメディアを使いこなすことのできる“デジタルキュレータ”を育成するための教育プログラムを開発する。</p>					
11. 研究グループ概要(英語)					
<p>Recently, the opportunity to use digital media in museums exhibitions and educational activities are increasing. Therefore, the curator of the future will require the ability to take advantage of digital media. The purpose of this project is to develop educational programs to foster the digital- curator.</p>					
12. 設置の目的及び必要性					
<p>デジタルメディアの高性能化と、来館者のメディアリテラシーの向上により、ミュージアムの情報化が急速に進んでいる。デジタルサイネージを用いた展示映像の企画開発、インタラクティブメディアを活用した教育活動、ソーシャルメディアによる情報発信等の取り組みが各地のミュージアムで始まっている。またスマートフォンやバーチャルリアリティ等のデジタルメディアを活用し来館者サービスを拡大するデジタルミュージアムの研究も増大している。これらを支える人材の養成が急務であるが、本研究ではその教育プログラムを開発する。</p>					
13.研究計画					
<p>1. デジタルミュージアムならびにデジタルキュレータ調査 1) 国立系大規模ミュージアムに対するフィールド調査 2) 中規模公共ミュージアムに対するフィールド調査 3) 民間ミュージアムに対するフィールド調査</p> <p>2. デジタルキュレータ養成ワークショップ開発 1) ワークショップ・プログラムのプロトタイプ提案 2) 情報学群生を対象とした、ワークショップ試行と評価</p>					
14. 研究・教育に期待される効果(箇条書き)					
<p>1. デジタル・キュレータ育成プログラムの開発 2. デジタルミュージアムを支える専門性の高い人材の育成</p>					